



高藤義勝 議員

Q 空き家対策計画の策定は

A 対策計画は必要であると考える

日本の総人口は、2008年頃をピークに減少し始めている。今後、世帯数においても、減少に転じると推計されており、空き家対策は避けて通れない問題である。空き家は、放置され続けると景観を損なうとともに、防災、防犯のリスクが増加し、倒壊の恐れがある。これらを踏まえ、2015年に特別措置法が施行され、問題のある空き家を放置しておく特定空き家に指定して、行政側

が権限と責任を持つて空き家対策を行うこととなる。

問 本町の空き家対策計画の策定は。

町長 空き家対策計画は必要であると考える。今後、空き家の対策や利活用について十分に検討し、また近隣市町村の動向も見ながら、計画の策定を研究していく。

問 29年度の調査で本町の空き家は459件と増加傾向だが、減少に向けた対策は。



古民家を活用した新しいビジネス（入間田地区）

町民環境課長 空き家総数は増加しているが、対策は検討していない。適正に管理されている。

問 空き家の活用として、グループホーム、飲食店、宿泊施設など、地域活性化に向けての相談窓口が必要では。

町民環境課長 本町では、民間の不動産会社での取引もあり、設けていない。今後、利活用の相談窓口としてどの形がいいか検討していく。



秋本好則 議員

Q 調理器具は最新でも環境に問題があるのでは

A 使いこなして給食を作っている



現在の学校給食センター

学校給食センターは、議会で取り上げ、建替えが必要と報告がある。**問** アスベストは使用されていたのか。**町民環境課長** アスベストの含有調査では出ていない。断熱はどのような施工になっていたのか。**町民環境課長** 天井裏を見たが断熱材は確認できない。

問 十分な断熱が無ければ、屋根を直しても結露が起きるのでは。**町民環境課長** 調査では、機械室のファンが稼働可能であり、ある程度結露を防いでいる。**問** 換気は、ダクトで経路をつないでも、抵抗の少ない方へ流れる。配管を直さなければ、全体の換気はできないが、全部直すのではなく、元の配管を活用していく。**町民環境課長** 東京都東大和市の給食施設を見てきた。8千食提供の規模で、鉄骨造の総2階建て。建設費は30億5千400万円で、平方単価78万円。大河原町の計画は平屋で、11億8千万円。平方単価

65万円。総2階建てでも1：2倍の差だが、建築面積が少なくでき、駐車場なども広く取れるのでは。**町民環境課長** 先進事例を参考にしながら検討する。**問** 調理器具は最新と言いが、車に例えると、エンジンが最新でも、車体（環境）に問題があると車の性能が十分に発揮できないのでは。**町民環境課長** 現状は使いこなして給食を作っている。

一般質問



白内恵美子 議員

Q 学校給食センターは住民の声を生かした施策を

A 住民懇談会で説明するとともに、意見を伺いたい



来年度改修予定の床

「広報しばた」8月号に、学校給食センターの記事が掲載された。保護者から「調理機器の写真ばかりで老朽化している内部の写真が載っていない。現状を伝えてほしい」との声がある。

問 早期建設ではなく、長寿命化を図る理由を、議会や住民に詳しく説明することを提案する。

教育長 建設には相当な財源が必要になることや、用地選定の問題もあり、今すぐの建設は困難と判断した。耐震上は問題が

ないことから、改修による長寿命化を選択した。

問 最新鋭の機器を入れたても、建物の衛生面は改善されない。子どもたちの食の安全を最優先に考えるべきでは。

教育長 経年劣化による問題の部分は、建物の機能回復工事を行っている。来年度は、調理室の床や換気設備の改修工事を行うので、衛生上の懸念事項はおおむね解消される。

問 町長は、38年経過しても問題ないと答弁した。内部確認したのか。

町長 職員からの報告を受けている。

問 給食センターに対する保護者の意見や要望を丁寧に聴き、今後の施策に生かすべきでは。

教育長 町長へのメッセージに、町民や保護者からたくさんの方の意見を受けている。10月の住民懇談会で、現状や今後の修繕方針を説明するとともに、新センター建設などに関する意見を伺う。



森 淑子 議員

Q 日常生活支援総合事業はこれからどうなるか

A 現在、制度設計を行っている



ワイワイガヤガヤ！ ロック栄会（第6A区集会所）

問 住民主体型の新たな通所サービス、訪問サービスとは。

町長 通所型サービスとは、要支援者などを対象に、体操や運動、趣味の活動を通じた居場所づくりや、地区での定期的な交流会などが主な内容。訪問型サービスとは、掃除や洗濯などの日常生活上の支援サービスを提供するものである。

問 「この日」をどう活用していくのか。

福祉課長 今回の計画の中で、「※日常生活支援総合

事業訪問型B」という、地域が主体となって進めるデイサービスの事業体系になるよう、制度設計を行っている。

問 他の自治体で、高齢者の住民グループがボランティアをしつつ、町の委託を受けて、有料で洗濯、草刈りなどのサービスをしているところがある。本町でそのような団体ができたとき、支援する用意はあるか。

福祉課長 住民主体の多様なサービスに含まれる。無償のボランティアと有

償のボランティアを分けて制度を作りたい。

問 おおむね30分で行き来できる範囲を日常生活圏と設定し、基盤整備を進めるとしているが。

福祉課長 本町では、30分以内でサービス提供ができる状況にあり、範囲は町内を一つとしている。

※ 日常生活支援総合事業訪問型B＝住民主体、ボランティア主体の生活援助。訪問型A＝主に雇用労働者が行う生活援助。

一般質問



安部俊三 議員

Q まちづくり推進の一層の進展を

A さらに強化する方策を検討



各種団体の交流拠点となっているまちづくり推進センター

問 生涯学習関係施設とまちづくり推進センターの果たす役割の相違点は何か。

教育長 前者は、地域課題の解決に向けた知識やノウハウを学ぶ機会の提供であり、住民相互の絆づくりなど地域に向き合った支援。後者は、住民などのアイデアを生かし、自ら課題解決のため実践する公益的なまちづくり活動につながる支援である。

問 生涯学習関係施設とまちづくり推進センターの実績や現状を、

教育長 ターは、連携しているか。必要に応じて情報交換を行っている。今後、直接的な事業の推進について検討する。

問 生涯学習関係施設は、住民活動を助長し支援する積極的な取り組みをしているか。

教育長 地域運営組織活動の支援、協力、連携を図っており、住民活動の支えとなっている。さらに強化する方策について検討する。

問 まちづくり推進センターの現状や実績を、

町長 どう評価しているのか。登録団体が32団体となっている。各団体の活動の活性化が図られ、交流や連携を行う橋渡しの役割として機能が発揮されている。

問 まちづくり推進センターを、農村環境改善センターなどの公共施設に移す考えはないか。

町長 多くの方が利用しやすい現在の場所です、事業を継続していきたいと考えている。



広沢 真 議員

Q 県の上下水道の民営化方針の影響は

A 低コスト運用が可能か動向を注視している段階



水は生活の源（南部山浄水場）

問 みやぎ型管理運営方式（上下水道の民営化方針）について、県からどのように知らされているか。

町長 人口減少のため、今後20年間で上下水道収益が6・7割減、工業用水が契約水量の5割減が見込まれる。そのため、上下水道の管理運営を20年間の期間で民間委託を検討していると聞いている。

町長 本町は仙南仙塩広域水道から10割受水している。県の説明通りなら、この方式が適用されることで、経費削減と設備更新の削減のメリットがある。しかし、上下水道事業は公共性の高い事業である。利益を追求する民間事業者が参入することで、上下水道の技術継承の問題、災害発生時の早期対応、水道事業からの契約満了前の撤退など、リスクも懸念される。

問 民間に管理運営を委託するとなれば、県の職員の多くが引き上げることになり、ほとんど民間企業の職員になる。公共性が保てるのか。

町長 仙南仙塩広域水道では、以前から施設の維持管理は民間企業が問題なく行っている。どの部分で経費削減になるのか。

町長 一番は人件費の削減。今後県の動向を注視し、公共性が保たれるよう意見も上げていく。



佐々木裕子 議員

Q 高齢者の健康維持増進活動の支援拡充を

A 健康づくりができる機会提供に努める



地域で楽しく健康維持（第16区）

現代社会では少子高齢化対策が叫ばれて久しい。誰しもが、生涯、健康な生活を送ることが願いたい。そのためには、日々の過ごし方が重要であり、高齢者にとつて負担なく参加できる健康維持増進の場の拡充が必要だ。多くの方に参加いただくことで、医療費軽減につながると思われる。

問 いきいきお茶つこ会の詳細な内容は、

町長 高齢者支援の一環として、町内の医師、歯

科医師、薬剤師、仙台大学、地域包括支援センター等の協力を得て、健康講話や講師への質問コーナー、軽運動など、お茶を飲みながら談笑する会。昨年度、船岡地区4回205人、槻木地区5回183人参加。「先生から色々お話が聞ける、参加者同士の会話が楽しい」と大好評である。

問 30年度、国や県へ高齢者健康維持増進に向けた事業申請は、

町長

町長 いきいきお茶つこ会の事業費について申請した。

問 事業目標設定や、効果の測定が必要では、

健康推進課長 外出ができていないことで成果は出ていると考える。

問 高齢者の元気な土台づくりのため、集会所を使う活動にも支援を、

福祉課長 高齢者サークル活動登録や社会福祉協議会の運営助成を実施している。

Q 学校の教室にエアコンの設置を



安藤義憲 議員

A 現時点では、小学校を先行し、1年遅れで中学校に設置する



扇風機で暑さをしのぐ教室

問 熱中症は、長時間の屋外の活動により発症し屋内でも発症する。高温によりプールの開放が中止となるなど、の高温猛暑の対策が求められている。その対策として教室にエアコンを設置するのが最も有効な手段と考えるが、町の見解は。

教育長 エアコンのない教室での学習は、経験上大変であると痛切に感じている。窓の開放や室内の扇風機を活用し、水筒による水分の補給やミス

トシャワーを設置し活用するなど、暑さ対策を工夫して行っている。エアコンの設置に向けて確実に前に進めたいという思いだが、町単独では困難で、国の支援策の動向を注視していく。

問 来年も、高温猛暑があつた場合、どのような対応をするのか。

教育総務課長 小中9校のエアコン設置計画を国に提出している。交付金を利用してエアコンを整備したい。先進自治体の整備状況

などを確認検討し進めていく。

問 32年度に小中学校一斉にするとのことだが、

町長 一斉にやる。ただし、工業者が同時並行で9校一斉にできるかは別の問題である。実現性の高いのは、小学校6校を先行し、中学校は一年遅れで設置。予算上も、工業者も可能性が高いのではないかと。

一般質問



森 裕樹 議員

Q ごみ出し困難者への対応は

A 事業実施を目指していく



ごみ出しも年々大変になってきました

2035年には、3人に1人が高齢者になると予測されている。本町も例外ではなく、超高齢化社会に対応した仕組みや体制にシフトしていかなくてはならない。ごみ出し困難者の支援体制を構築することも、課題のひとつである。

問 本町のひとり暮らしの高齢者の世帯数は、

町長 30年3月31日時点で、1千142世帯、県内35

市町村の中で19番目、65歳以上の高齢者の占める

割合は10・5割で、県内で27番目である。

問 本町における高齢者のごみ出しの現状は。

町長 ごみ出しなど、生活上の調査は行っていない。集積所までの距離が遠いと感じている高齢者、また、分別をし忘れてしまうという高齢者もいるようだ。

問 高齢者だけでなく、障がいがある人へ支援は。

福祉課長 障害福祉サービスで、ごみ出しも含んだ家

事援助のサービスを利用していらっしゃる方がいる。

問 本町のごみ出し支援に対する見解は。

町長 今後は、ごみ出し支援のほかにも買い物や掃除、見守りなど、訪問型サービスの制度設計や運営基準などを取りまとめ、事業実施を目指していく。



水戸義裕 議員

Q 防災士は本町に何人いるか

A 公開の承諾を受けている方が、47人いる



阿武隈川下名生地区堤防整備着工式の様子

問 我が国では多くの災害が発生しており、その対策が講じられているところである。下名生地区の堤防改修によってどの程度水害の度合いが低くなると考えているか。

都市建設課長 堤防幅が絶対的に足りなかった。改修により計画的な水路断面を確保し、強固になると考える。

問 阿武隈川の河川敷、白石川の出口付近が雑木で樹林化している。町としてどう考えるか。

総務課長 一台設置した。

問 毎年、仙台河川国道事務所との打ち合わせの中で、伐採をお願いしている。今後も、強く働きかけていく。

問 以前質問した中で、衛星電話の設置を進めると答えたが設置したのか。

総務課長 一台設置した。

問 防災士は何人いるか。

総務課長 47人いる。

問 西日本豪雨では、災害時30℃を越す暑さだった。避難所へのエアコン設置は。

総務課長 今のところ検討はしていない。

問 下名生・中名生地区は平地である。ハザードマップでは、水害が発生した場合、どこに避難するか載っていない。

総務課長 東船岡小学校は水害の避難所にはなっていない。船岡体育館まで避難をお願いする。



平間幸弘 議員

Q 老朽化したため池の今後の対策は

A 活用方法について、地域の方々と話し合う



今後の活用を地域と話し合う

問 7月に発生した西日本豪雨でのため池による被害について、農林水産省は「防災重点ため池ではない中山間部の小規模ため池で、決壊等が多発したことを受け、今回の災害を踏まえた効果的な対策のあり方を検討」としているが。

町長 本町では、下流の住宅などに被害が出るおそれがある24カ所のため池について、国の指示により、緊急点検を実施。異常は見つかっていない。

問 本町でも、近年ゲリラ豪雨などによる被害が度々発生している。土砂の流入により水深の浅くなったため池、老朽化したため池や活用されていないため池などは何らかの対策が必要では。

町長 町では、近年大規模なしゅんせつは実施していない。災害などにより土砂が流入した場合撤去している。

現地確認の際には、貯水量や土砂堆積の状況を確認し、利用目的上支障

が出ないよう対応している。また、経年による土砂流入で、取水施設の尺八どいが閉塞することもあるが、斜樋管の清掃なども実施している。

老朽化したため池や、活用されていないため池は、今後、廃止を含め検討すべきと思うが、利用状況に応じた活用方法について、地域の方々と話し合いを進めていく。



有賀光子 議員

Q 産後鬱を防ぐため産婦健診費用の助成を

A 県内で統一して実施することが望ましい



気軽に相談（4か月健診）

産後間もない母親の状態を把握し、産後鬱などを防ぐため、産婦健診費用助成事業が拡大された。

問 産後鬱を防ぐため、産婦健診費用の助成を。

町長 産後鬱は、出産後に起きる代表的な心の病気で、出産後数週間から起こりやすくなり、多くは3カ月から6カ月以内に発症する。産婦への支援は、産婦全員を対象として産婦・新生児訪問を実施している。産婦健

診の費用助成については、妊婦健診と同時に県内で統一して実施することが望ましいと考える。

問 町では、子育て世代包括支援センターを開設している。現在の状況は。

町長 29年7月から、柴田町子育て世代包括支援センター事業がスタートした。事業は、子育て支援センターで行う利用者支援事業基本型と、保健センターで行う母子保健型として実施している。

現在の状況として、利用者が円滑にサービスを利用できるように支援している。

問 父子健康手帳交付の現状は。

健康推進課長 本町では核家族が非常に多く、夫も育児に参加しなければ家族の機能が成り立たない現状が出てきており、父子健康手帳は大変好評を得ている。

一般質問

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美 議員

問 (仮称) 柴田町総合体育館は防災拠点のかなめとして整備を進めていくべきでは。

答 避難所として重要な役割を果たすことから、建設を早急に行う必要があると考える。

問 幼児期の発達に見合った※アクティブ・チャイルド・プログラムの取り組みを導入しては。

答 運動やスポーツを始めるきっかけにもなるため、今後、活用について工夫・検討していく。

舟山 彰 議員

問 公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定方針はいかに。

答 特に、行政施設及び学校教育施設について、長寿命化の方針で策定を急ぐ。

問 第6次柴田町総合計画の策定は。

答 来年3月に予定している議会に報告し、総合計画を確定したい。

吉田和夫 議員

問 通学路に面している民間のブロック塀の危険箇所は。

答 3カ所ある。通学路に関係する小中学校には、注意喚起をお願いしている。

加藤 滋 議員

問 スクールゾーンの調査では、危険なブロック塀が3カ所。通学路の変更はできないか。

答 学校を含め皆で情報を共有し、注意して通行する。今後、その通学路の変更を検討する。

秋本好則 議員

問 指定管理制度には職員配置や事業内容、職員研修等を指示する仕様書が必要ではないか。

答 委託する事業で、全部に共通した条例はあるが、仕様書でやっても良いと思う。

問 室内の熱は73%が窓から入る。エアコン設置とアウトターシェード(外部天幕)が必要では。

答 エアコン以外で対応できる部分に関しては、検討して取り入れたい。

白内恵美子 議員

問 会計年度任用職員制度施行による、臨時・非常勤職員の給与の実態、見直しの方向性は。

答 一般職非常勤職員は会計年度任用職員移行の見込み。給料、期末手当等は今後検討する。

問 国はスクールソーシャルワーカーの全中学校区配置を予算化している。3名配置すべき。

答 今年度から2名体制で事業を推進している。来年度以降も県に対し増員を要望していく。

問 酷暑対策として、早急に全小中学校へ冷房を設置すべきでは。

答 8月に国から来年度の建築計画の追加照会があり、エアコン設置に係る事業を報告した。

平間幸弘 議員

問 交付金や補助金を受けて展開された事業の今後の継続対策は。

答 交付金で整備した拠点や事業は、資源を組み合わせ、集落に人を呼び込むよう支援する。

水戸義裕 議員

問 都市計画道路新栄通線は、計画されて今年で56年が経つ。ほ場整備区域の中の計画だが。

答 宮城県の見直しと整合を図りながら、路線ごとに見直し作業を進めたい。

問 全国的にも水道事業の経営継続が懸念され、各地で広域化も計画されている。将来は。

答 広域化、共同化の検討が進む中で、本町において有利な経営体制となるか見きわめていく。

有賀光子 議員

問 リサイクル金属を原材料としてメダルを作る。柴田町も携帯電話の回収ボックスの設置を。

答 町民が東京2020オリンピック・パラリンピックに参加できる試みとして設置する。

※ アクティブ・チャイルド・プログラム=日本スポーツ協会で、子どもの発達段階で身につけておくことが望ましい動きを習得するプログラム。

柴田町議会 「議会改革度ランキング東北1位」

早稲田大学マニフェスト研究所は「議会改革度調査2017」において、東北6県の町村議会では、柴田町議会が東北一の議会改革認定をいただきました。また、宮城県内の県市町村議会としては登米市議会・宮城県議会に次いで柴田町議会が第3位の評価をいただきました。

評価の対象は①議員間討議を工夫しながら実施していること。②3年間にわたり、柴田高校生との懇談会を実施。③有識者を講師に招き、研修会を公開で行い、町民や近隣市町の議員とともに研修を行っているのが評価されたものです。

引き続き、議員一人ひとりが矜をただし、議会改革を推し進めてまいります。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は各課の仕事を調査しています。

総務 常任委員会

平成30年6月19日～20日



調査内容

- ①柴田町まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）の運営状況と今後の方針について
- ②槻木事務所の修繕状況について
- ③柴田衛生センターの現況について【仙南地域広域行政事務組合行政視察】
- ④固定資産台帳及び施設カルテについて

調査結果

【まちづくり政策課】

- まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）の機能の一部が生涯学習センターと重複している。現在の運営状況を精査し、今後のあり方について検討すること。

【槻木事務所】

- 身障者用トイレは狭く車椅子を自走しての利用は困難を伴う。トイレが利用しやすくなるよう対応策を検討されたい。

文教厚生 常任委員会

平成30年6月25日～26日

調査内容

- ①むつみ学園の現況について
- ②第一幼稚園の現況について
- ③学校通学路の危険箇所について

調査結果

【教育総務課】

- 児童生徒だけでなく保護者を含めての交通ルールの徹底を図ること。
- 安全に通学できるよう、見守り隊、交通指導隊、PTA及び行政区などからの意見を参考にして学校通学路を改善していくこと。
- 危険が指摘されている学校通学路については、早急に改善すること。



産業建設 常任委員会

平成30年7月12日～13日



調査内容

- ①柴田町観光物産協会の指定管理の内容について（船岡城址公園・太陽の村）
- ②柴田町水道施設中央監視システムについて

調査結果

【商工観光課】

- 指定管理期間の終了を控え、これまでの事業及び管理運営について評価すること
- 次期の指定管理の手続きにおいては、住民サービスの向上を図るための指針を示すこと。

【商工観光課・農政課】

- 観光物産交流館さくらの里および太陽の村について、利用者の満足度を高める環境作りを検討されたい。

【上下水道課】

- 新たに整備された管理システムを有効活用し、安心安全な水の供給を図られたい。

そう!

中間報告

一般懇談会活動テーマ

テーマ1 **みんなで考えよう
歩きたくなるまち**

テーマ2 **町政・議会全般**

一般懇談会で初めて
ワールド・カフェを開催

今年の議会懇談会は、9月19日に、3会場で開催しました。

今回の懇談会は、対話型のワールド・カフェ方式で行いました。

懇談1では、「みんなで考えよう、歩きたくなるまち」をテーマに、町の現状、理想、自分たちができること、行政にしてほしいことをグループごとに対話をしました。

懇談2では、「町政・議会全般」をテーマに、防災、学校給食センター、大型プロジェクトなどについて、様々なご意見をいただきました。

今回いただいたご意見・ご要望については、実行委員会で精査し、年度内に報告書としてまとめていきます。

テーマ1

「歩きたくなるまち」について(抜粋)

① まちの現状は?

- 側溝のふたがなく危険
- 歩道が狭く歩くのに危険
- 公園清掃など人手が足りない
- 空き家周辺は雑草が多い
- 公園にごみが片付けできないくらい捨てられている
- 案内看板や標示が少ない
- 雑草・犬の糞の処理

② 理想は?

- 側溝のふたかけ
- 安心して歩けるように歩道の整備
- 古い文化が残り、今でも継承されているところがある
- 水仙ロードはどこまでも伸ばしたい。行政区の協力が必要
- 歩道(広い箇所)に花があるといい
- 景観づくりをしながらルートをつくる

③ 自分たちでできること

- 清掃活動を増やす
- 行政に頼らず、自分たちがやれることは自分で(草刈など)
- ごみ拾いは各自で
- 道路の脇、家の庭に花を植える
- 地域で「花ボランティア」を募り、花の植栽や清掃活動をしては
- 地域コミュニティの輪を広げる

④ 行政にしてほしいこと

- ごみ集積所に防犯カメラ設置を
- 船岡城址公園だけでなく、すそ野まで「花のまち」を広げてほしい
- 景観条例が必要では
- 高齢化のため、草取りの対応は行政で行ってほしい
- 歩きたくなる雰囲気作りも大切
- 防犯カメラを設置すること

テーマ2

町政・議会全般について(抜粋)

- 町内に設置しているAEDの場所を、ハザードマップに記入してほしい(保健センター)
- 白石川が氾濫した場合のハザードマップは(保健センター)
- 崖崩れ対策を(船迫学セン)
- 危険な場所のマップ化を(船迫学セン)
- 白石川・阿武隈川の合流点である槻木は、大雨で水害に遭いやすい。対策を(槻木学セン)
- 大型プロジェクト建設などの財源は。不安である(保健センター)
- 図書館に読みたい本がない(船迫学セン)
- デマンドタクシーの、土日利用を考えてほしい(槻木学セン)
- 文化財指定に対し、修理費などの助成はできないか(槻木学セン)
- 町道・県道・国道や学校(校庭)環境も含め、町全体をきれいにしてほしい(槻木学セン)
- ごみ集積所でないとところへ防犯のため防犯カメラの設置を(船迫学セン)
- 槻木小5年生が、CM大賞に応募する。楽しみである(保健センター)
- 議会改革度ランキング県内3位、町村では東北1位、柴田町議会はすごい(保健センター)



平成
30
年度

一般懇談会 & 団体懇談会

議会と話

参加状況

会場	参加者
柴田町保健センター	12
船迫生涯学習センター	15
槻木生涯学習センター	12

ところでワールドカフェって？

参加者が、カフェのような雰囲気（BGM・お茶・お菓子）の中で、4～5人の少人数のグループに分かれ、メンバーの組み合わせを変えながら、自由に話し合いを發展させていくワークショップの手法です。

アンケートの意見

ワールド・カフェについて

議員さんと近くなったのがうれしいです

議論の時間が少なかった。ワールド・カフェじゃ時間が短い

全体懇談会より個人の意見言い易い

3回テーブルを替えると時間がなく、話し合いが深まらなかった

その他の意見

柴田町議会への評価嬉しいです。議員の皆さんご苦労様です

良かった。もっと参加者が増えることを期待します

学校給食センターの現状の説明をもっとくわしく

議員は積極的に議員提案による政策条例に取り組むべきであろう

給食センターや図書館、体育館の建築について具体的に進めているのか

100パーセントではないが良い懇談会でした。しかし時間が足りない



8月2日に、議員研修会を開催しました。
「話し合いを活性化させるコツを体験しよう！」を題材に、地域社会デザイン・ラボ代表である遠藤智栄氏を講師に迎え、話し合いに活用できるコツなど体験しました。
当日は、柴田町議会議員のほか、町民、近隣市町議員、町職員など計62人が参加しました。



公開議会議員研修会

柴田町に望むことは。
☆健康産業を総合的な戦略に取り込んでほしい。
☆大学の施設と町の施設を連携してスポーツ経済を發展させてほしい。



仙台大学との団体懇談会

団体懇談会を8月2日に仙台大学で開催しました。大学からの要望や質問の一部を掲載します。
仙台大学からの要望
☆若者の雇用創生又は地域への定着について、いろいろな形で協力関係を築いてほしい。
☆オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの充実を図るとともに、柴田町にもフアンクラブを設置してほしい。

？ なった

テーマ：学校給食センター

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、学校給食センターについて特集します。

学校給食センターの経緯

柴田町学校給食センターは、昭和55年に現在の場所に建設し、38年が経過します。その後昭和62年に増築しましたが、大規模な改修工事はありません。

平成24年に柴田町・大河原町・村田町の学校給食センターはそれぞれ築30年が経過していることから、3町合同学校給食センター建設について可能性調査検討委員会を立ちあげましたが、25年に断念することが決定しました。町では、その後の対応として、施設の修繕をして継続使用すること、柴田町総合計画後期基本計画に明記すること、学校給食センター建設等整備基金の積み立てをしていくことにしました。

委員会所管調査にて

平成30年1月17日に文教厚生常

任委員会で学校給食センター内の視察を行いました。保健所の指摘箇所や衛生面など調査し、大規模改修をして長寿命化するよりも建替えすべきであると提言しています。30年度は、屋上防水改修工事、消毒手指洗浄消毒設備改修工事を行っています。また、31年度では、調理室床改修、調理室等換気設備改修などが予定されています。給食をとめないという配慮から、2カ年（夏休み期間）にわたり改修していく計画となっています。

さらに、学校給食センター建設に向けた調査を予算計上しています。



学校給食センター

文教厚生常任委員会 視察結果 平成30年1月17日

保健所からの指導は？

毎年6月に実施している衛生管理指導を受け、適切に対応しています。

結露による水滴が調理機器に落ちないように、漏斗とホースをつないだもので対処している。結露対策として、換気の改善が必要なため、31年度でダクトの改修工事を行う予定。



調理室 水滴対策



調理室 天井の暖房機へのカバー



調理室 窓枠の応急処置

風、埃、虫の侵入防止策をとっている。今後は壁面と窓は一緒に改修したい考え。



調理室 床の状態



調理室 パーテーション仕切り

平成21年度の国の学校給食衛生管理基準に基づき、パーテーションで汚染区域と非汚染区域に分けている。床に関しては本町ではドライ運用をしている。できるだけ乾いた状態にしている。

「追跡」あれはどう

30年度 修繕工事が完了しました

手指消毒室の流し台の修繕



修繕後



屋上屋根防水修繕



修繕後



雨どいの修繕



修繕後



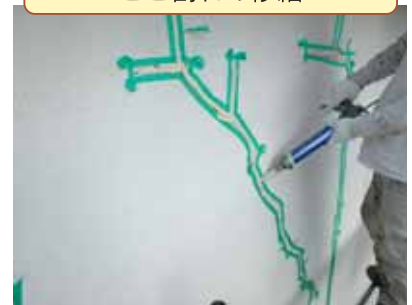
排気フードへの防虫網設置



修繕後



ヒビ割れの修繕



町では、総合体育館、学校給食センター、図書館、学校エアコン設置など、大型プロジェクトが現在進行中です。学校給食センターは、その1つであることから、当面は、隣接市町の先進事例などを参考に、民間による整備方法も含めて調査・検討を進めています。学校給食センター建設に向けては、26年度から「学校給食センター建設等整備基金」の積み立てを始めており、建設規模や設置場所なども今後検討します。

文教厚生常任委員会では、建設を予定している学校給食センター建設の事例として、近隣市町の学校給食センターを視察しています。

アレルギー対策や子どもたちへの食育など様々な観点から研究を重ねていきながら、本町に合った施設の建設について提言していきます。

新学校給食センター
建設に向けて

あなたの一言



いわい えみ さん
岩井江美さん
(槻木西 在住)

●柴田町に住んで感じたことは？

交通の便も良く、住みやすい町です。春には桜の景観が美しく、近所の葛岡公園で花見をしたりします。

秋にはキンモクセイの香りが町のあちこちから香り、柴田町に住んでいる人たちは優しく、温かな人が多いことが感じられます。

●柴田町で好きなところは？

春の一目千本桜。葛岡公園から町内を見下ろす風景も、とっても素敵です。

●柴田町に何を望みますか？

子育て支援はもちろんのこと、福祉についても、なお一層の充実をしてほしいです。子どもたちを安心して育てられる環境を期待しています。

●議会だよりを読んでいますか？

無関心ではられませんので、よく読んでいます。柴田町のために日々議員さんが働いているのを見ていますので、関心を持って読んでいます。

●議会、議員に何を望みますか？

町民に寄り添った町政を望みます。ひとり一人の声に、耳を傾けていただければと思います。期待しています。

■議会から一言

多くの皆様からの声に耳を傾け、期待に応えてまいります。

未来へ向けて

表紙について



台風が近づくなかでしたが秋空の下、怪我をしないように準備体操。かけっこでは転ばないように手を挙げてゴールイン。(10月6日撮影 浄心幼稚園)

◆編集後記◆

最近気になる事「広報しばた」と「しばた議会だより」を比べて、どうなのだろう...と思う。

同じ広報紙なのに、かたや町政情報、こちらは議会情報とカテゴリーは違うが、予算・決算の時期は「広報しばた」に遅れること1カ月。発行された時は二番煎じのような情報になる。もちろん、視点が変わるので「似たような」や「この前見たような」のもやっとした気持ちで読者の皆さんもいると思います。「広報紙」は後世に伝える「記録紙」の役割もあります。情報が似る時もございますが、ぜひ皆様にご理解をお願いするところです。

ところで、どうですか？ 皆様のご意見をお待ちしています。

議会広報常任委員会 副委員長 平間 幸弘

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

12月会議は
12月3日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
12月3日(月)・4日(火)・5日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより162号は、約16,000部作成しています。1部当たりの経費は約44円です。